



## 2 分野1 くらしにとけこむ健康づくり



### 1 指標の達成状況と評価

#### 成果指標

評価指標	基準値 令和2年度 (2020年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)	評価	出典
① 健康づくりを目的とした活動を続けている人の割合	45.3% 【令和元年度 (2019年度)】	—	増加	—	1

#### 取組の評価指標

評価指標	基準値 令和2年度 (2020年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)	評価	出典
② 健康経営に取り組む企業数	14 企業	53 企業	68 企業 [増加]	a	2
③ すいた健康サポーター養成講座修了証交付者数(累積)	230 名	467 名	700 名 [400 名]	a	—
④ 生活習慣を改善するつもりはない人の割合	男性：28.9%	男性：27.4%	男性：25.0%	b	3
	女性：20.3%	女性：20.4%	女性：17.0%	d	

※ 目標値の欄の[]内は見直し前の内容

#### 現状値の出典一覧

- 吹田市健康に関する市民意識アンケート調査 2019
- 経済産業省 健康経営優良法人認定制度登録企業数
- 吹田市 30歳代健診及び吹田市国保健康診査

## 2 これまでの主な取組

### (1) 楽しみながら自然と健康になれるまちづくり

#### 行政の取組

- ・ 安全で快適な道路環境を確保するため、バリアフリー基本構想に基づき、特定経路（特定旅客施設と官公庁施設、福祉施設等を結ぶ道路）のバリアフリー化を促進しました。
- ・ 市内の公園について、快適かつ安全に利用できるよう、樹木の採伐や除草、遊具の修繕等の維持管理を行いました。また、公園のさらなる魅力向上を図るため、都市公園の再整備を進めており、令和5年4月には桃山公園及び江坂公園がリニューアルオープンしました。
- ・ 健都レールサイド公園と健都ライブラリーを一体的に管理し、年間1,000回以上の多様な運動プログラムや健康づくりイベントを実施したほか、多世代共生の場として活用しました。
- ・ 公共施設の整備や様々なテーマの講座、イベントを実施し、全ての世代の人に対し、生きがいにつながる場や、人とつながる場を提供しました。

#### 地域団体等の取組

- ・ 吹田市健康づくり推進事業団では、市内の企業や大学等と連携し、スーパー等の身近な場で、健康に関するブースを出展し、歩き方の測定会の実施や、栄養バランスのとれたお弁当の選び方等について啓発しました。
- ・ 吹田市社会福祉協議会では、公民館や集会所等の身近な場でいきいきサロン等を開催し、仲間づくりや情報提供の場、社会参加の場を提供しました。

### (2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組

#### 行政の取組

- ・ 国立循環器病研究センター監修の生活習慣チェック機能等を搭載した親子健康応援アプリ「すいろぐ」を開発・運用し、子供と保護者の健康づくりを支援しています。
- ・ 体を動かす身近な場所となる公園や公民館等の社会教育施設の整備、維持管理を行う等、健康づくりを行うための場を提供しました。
- ・ 健康教室や出前講座等、健康について学ぶ機会を提供し、定期的、継続的に取り組めるよう、ダンスや体操教室等、多種多様なプログラムの提供を行いました。
- ・ SNSでの配信やスーパーやドラッグストア等の商業施設でのポスターの掲示等、生活に身近な場で健康情報を発信しました。また、電話等による健康相談や栄養相談等、気軽に相談できる機会を提供しました。
- ・ すいた健康サポーター養成講座、小学4年生を対象としたキッズ健康サポーター教室、令和5年度からは、市内の大学と連携した健康サポーター養成講座を実施し、健康づくりをサポートする人材を育成しています。

#### 地域団体等の取組

- ・ 吹田市健康づくり推進事業団では、地域団体や大学、企業等と協力し、健康づくりを啓発するイベント「みんなの健康展」、女性の健康週間（3/1～3/8）にあわせて、女性の健康に関するイベント「レディース健康フェスティバル」を実施しました。

- ・吹田市健康づくり推進事業団では、「質のよい眠り」や「ロコモティブシンドロームの予防教室」等、栄養、運動、休養に関する講演会を開催しました。
- ・吹田地区栄養士会さんくらぶでは、生活に身近なスーパー等で、食に関する情報提供や栄養相談を実施しました。
- ・吹田市体育振興連絡協議会では、各地区の地域スポーツの課題解決に向けた協議を行い、スポーツに関する継続的な研修会を開催し、地域における生涯スポーツを推進するための人材を育成しています。

### 3 現状と課題

- ・健康づくりを目的とした活動を続けている人の割合について、現状値の把握ができないため、現時点では評価困難です。また、具体的な目標値を設定することは難しいことから、目標値は引き続き増加とし、最終評価において評価するものとします。
- ・健康経営に取り組む企業数は増加しており、企業の健康経営に対する意識は高まっているものの、吹田市内の企業数の約2割となっています。生涯を通じた健康づくりの推進に向け、地域保健と職域保健が連携し、就労世代の健康づくりに取り組む必要があります。
- ・すいた健康サポーター養成講座修了証交付者数は増加しており、現状値が目標値を達成しています。身近な人からの健康情報の提供は、周囲の人の健康への関心を高めるきっかけとなるため、若い世代も含め、幅広い年齢層のサポーターを養成していく必要があります。
- ・生活習慣を改善するつもりはない人の割合は、男性は減少傾向にありますが、女性はわずかに増加しています。個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の生活環境による影響を受けることから、社会的・環境的なアプローチが必要です。
- ・インターネット等を通じて簡単に様々な情報が入手可能となり、誤った情報を目にする機会も増えていることから、正しい情報を見極め取捨選択する力が必要です。

### 4 指標・目標値の見直し

#### (1) 成果指標

該当なし。

#### (2) 取組の評価指標

- ・健康経営に取り組む企業数について、計画策定時に具体的な目標値については取組を進めていく中で決めるとしていたことから、以下のとおり、具体的な目標値を設定しました。

評価指標	見直し前 目標値	見直し後 目標値	目標値の考え方
健康経営に取り組む 企業数	増加	68 企業	令和2年度から令和6年度の実績を基に算出し、今後も同様の伸びをするものとして設定しています。

- ・ すいた健康サポーター養成講座修了証交付者数について、現状値が目標値を達成しており、今後とも増加が見込まれることから、以下のとおり、目標値を見直しました。

評価指標	見直し前 目標値	見直し後 目標値	目標値の考え方
すいた健康サポーター養成講座修了証交付者数（累積）	400名	700名	令和2年度から令和5年度の実績を基に算出し、今後同様の伸びをするものとして設定しています。

## 5 今後の取組の方向性

- ・ 健康経営に取り組む企業の状況を把握し、好事例等については、市のホームページに掲載する等、健康経営のさらなる普及促進に取り組みます。
- ・ 健都を生かした健康づくりの取組を推進し、様々な運動プログラムや健康イベントを継続的に実施していきます。
- ・ 小・中学校において、個別最適な学びと協働的な学びを実現するための取組によって、子供の心身の健康づくりを支援します。また、保護者に対し、健康について学ぶ機会や健康づくりを行う場を継続的に提供し、子供の健やかな生活習慣の形成を支援します。
- ・ すいた健康サポーター養成講座について、引き続き、若い世代や就労世代も含めた多くの市民が参加できるよう開催方法等の工夫に努めます。
- ・ 企業・研究機関・地域団体等の多様な主体との連携により、新しい技術や知見を積極的に活用し、健康に関心の薄い人を含めた全ての市民が生涯にわたって健康的なライフスタイルを無理なく生活の中に取り込めるよう、社会環境の整備を推進します。
- ・ 市民一人ひとりが自身の身体や健康への関心を高め、自身にとって最適な情報を見極め、選択できるよう、引き続き、健康や医療に関する正しい情報を分かりやすく発信するとともに、スーパー等の生活に身近な場やSNS等を活用し、目にする機会を増やします。
- ・ 企業等とも連携し、アプリ等の身近なデジタルツールを通じて、市保有の健診情報を自らの健康管理に活用できる環境の整備を進めます。